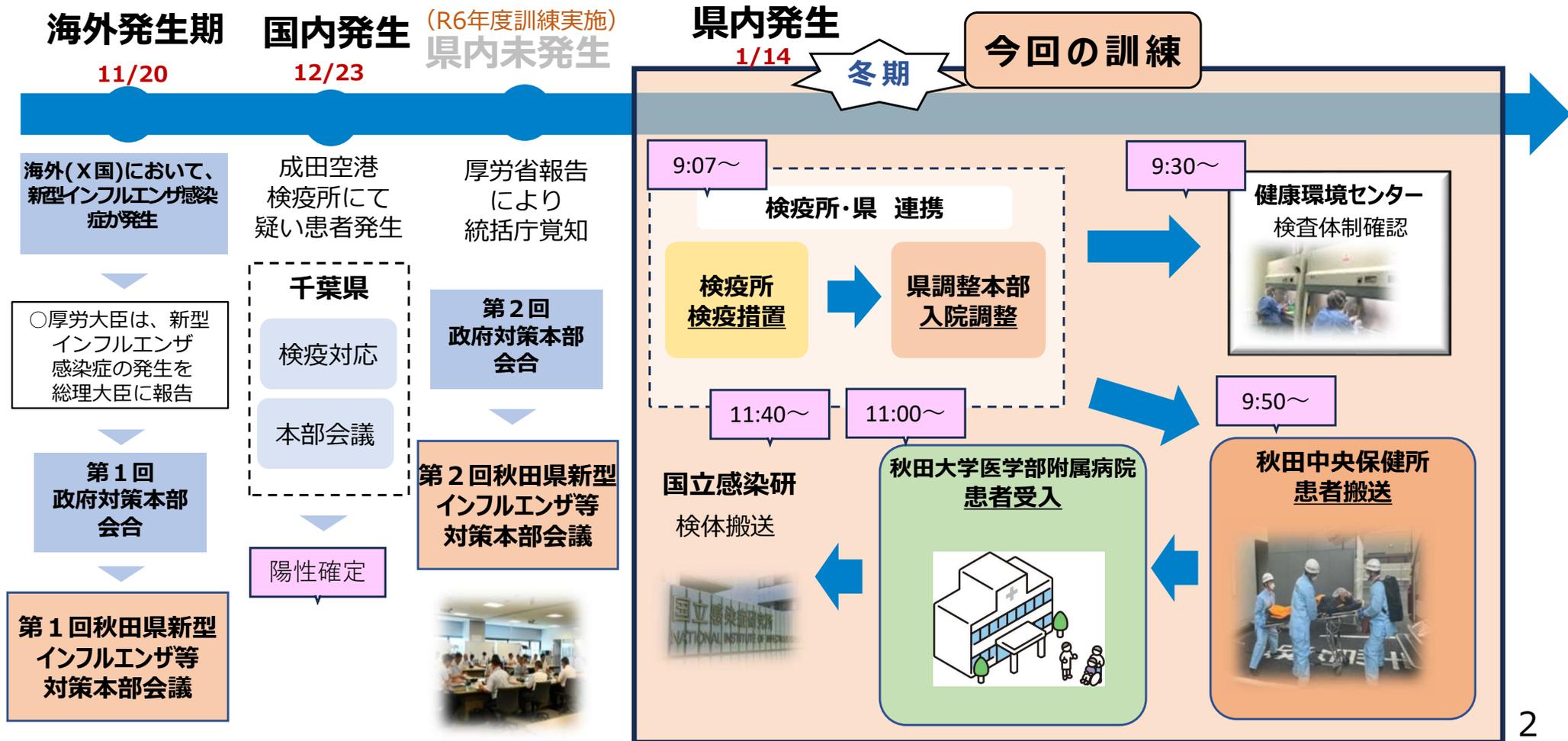


資料4**秋田県 新型インフルエンザ疑似症患者・
検体搬送、検疫措置訓練**

**令和8年2月2日
秋田県**

秋田県 新型インフルエンザ疑似症患者・検体搬送、検疫措置訓練

訓練までの想定	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海外(X国)で新型インフルエンザ感染症が発生し、その後国内でも千葉県で新型インフルエンザ陽性が確定 ○ 秋田船川港入港後の貨物船で、船員1名に発熱・咳嗽などの症状が出現
今回の訓練	<ul style="list-style-type: none"> ○ 検疫所は、臨船確認により新型インフルエンザ疑似症患者と判断し、県調整本部に報告。 ○ 停泊中の行動歴から、県は第一種感染症指定医療機関への入院が必要と判断。秋田中央保健所へ搬送依頼。 ○ 秋田中央保健所は、船川港から患者を秋田大学医学部附属病院へ、アイソレーター付き搬送車で移送。 ○ 大学病院は高度感染症ユニット棟で患者を受入、検体を採取。検体は警察車両で県職員がJIHSへ搬送。



タイムスケジュール

時間割	内容	訓練会場
第1部		
9:00~9:07	開会挨拶、訓練オリエンテーション	多目的室
9:07~10:10	検疫措置、患者搬送訓練	秋田中央保健所(モニター)
10:15~10:50	高度感染症ユニット棟見学	※多目的室動画投影
11:00~11:50	患者引き継ぎ、診察、検体採取	高度感染症ユニット棟(モニター)
11:50~12:15	検体引き継ぎ、検体搬送	高度感染症ユニット棟(モニター)
~13:00	個人防護具脱衣、取材対応	※取材対応 多目的室
休 憩		
第2部		
14:30~17:00	訓練振り返り・意見交換会	多目的室

訓 練 概 要

秋田県新型インフルエンザ疑似症患者・検体搬送、検疫措置訓練	
目的	<p>新型インフルエンザ等感染症の県内初発時の患者及び検体搬送にかかる対応を確認するため、県庁・保健所・医療機関・検疫所・健康環境センターと連携した訓練を実施する。</p>
訓練内容	<p>新型インフルエンザ疑似症患者・検体搬送及び検疫措置(実動訓練) (メディア公開)</p>
日程	<p>令和8年1月14日(水) 9時00分～13時00分</p>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県(保健・疾病対策課、秋田中央保健所、健康環境センター) ○ 秋田大学医学部附属病院、仙台検疫所秋田船川出張所 ○ 国立健康危機管理研究機構、内閣感染症危機管理統括庁 <p style="text-align: right;">(報道機関4社) 計89名</p>
訓練の進行	<p>ア 検疫所からの連絡に基づき、県調整本部が患者の詳細を確認 イ 確認の結果、当該患者を「新型インフルエンザ疑似症」と判断。検疫所と協議の上、県調整本部が入院調整を実施し、秋田中央保健所に患者搬送を依頼 ウ 調整本部から情報伝達を受けた健康環境センターは、今後の患者発生に備えた検査体制にかかる準備を進めるとともに、所内において感染症危機対策委員会を開催 エ 保健所職員が秋田大学医学部附属病院に患者移送(警察先導) オ 保健所職員から病院職員に患者引き継ぎ(アイルーター乗車のまま病室へ) カ 病院職員から県保健・疾病対策課職員に検体受け渡し、国立健康危機管理研究機構(国立感染症研究所)へ搬送(警察車両に県職員乗車)</p>



訓練振り返り・意見交換会 概要

秋田県新型インフルエンザ疑似症患者・検体搬送、検疫措置訓練(第2部)～振り返り～

目的	新型インフルエンザ疑似症患者及び検体搬送、検疫措置訓練の結果を多機関で共有し、連携における課題と解決点を明確にする。
テーマ設定	①関係機関同士の情報共有について ②搬送、検疫措置訓練を踏まえた対応事項について (※メディア非公開)
日程	令和8年1月14日(水) 14:30～17:00
参加者	○ 県(保健・疾病対策課、各保健所、健康環境センター)、秋田市保健所 ○ 秋田大学医学部附属病院、仙台検疫所秋田船川出張所、県内各関係機関
方法	<p>★グループディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練参加機関からメンバーを分け、6グループ編成 ・役割分担:各グループ内で、司会、書記、発表者を決定 ・議論時間:各テーマ30分間 ・アウトプット:発表時間(各テーマ3グループずつ3分)にあわせて、ホワイトボードに課題と解決策をまとめる。 <p><u>※訓練評価のため、ホワイトボードの記録をカメラで撮影します。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各テーマ、3グループ発表後、全体ディスカッション・質疑応答

訓練を通じた課題の抽出と今後の改善の方向性～アンケート結果等から～

	項目	課題の抽出	今後の改善の方向性
1	情報共有・連携の高度化 (DXの推進)	<ul style="list-style-type: none"> ・電話による情報伝達の誤認リスク ・連携調整の遅延の可能性 ・迅速かつ正確な情報共有、プライバシー保護とセキュリティの両立 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通ツール(Teams、チャット、共有クロノロジー等)の導入検討 ・報告内容のテンプレート化(様式策定)による標準化
2	実地における運用 資機材の最適化	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊な資機材の操作習熟度 ・患者の状態に応じた柔軟な対応の必要性 ・搬送車の設備不足 ・冬期等の過酷な環境かでの搬送 ・PPEの適切な選択基準 	<ul style="list-style-type: none"> ・資機材の平時点検・操作訓練の徹底 ・患者のADL(自立度)や季節に応じた搬送アクションカード(手順書)の整備
3	組織的な対応能力の継続・拡張	<ul style="list-style-type: none"> ・パンデミック未経験者の増加 ・人事異動によるノウハウの風化 ・サージキャパシティの確保 ・特定職員への業務集中 	<ul style="list-style-type: none"> ・サージキャパシティ名簿の整備 ・多職種・多機関(警察・検疫所・医療機関等)が「顔の見える」合同訓練の定期的実施